

第 3 次上尾市地域福祉計画・第 6 次上尾市地域福祉活動計画 取組評価実施方針

令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間を実施期間とする第 3 次上尾市地域福祉計画・第 6 次上尾市地域福祉活動計画（以下「計画」という。）では、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）を繰り返すマネジメント手法である「PDCA サイクル」による管理を行い、確実な計画の実行と定期的な評価・改善を実施します。そのため、サイクルの C（Check：評価）において、計画に掲げた各取組状況について評価を実施します。

計画の進捗管理は、客観的評価として指標の達成状況の確認、ならびに市・社会福祉協議会による各取組状況の内部評価に対する点検・確認を毎年度（1 年サイクル）行い、必要に応じて見直しを実施しながら、計画の着実な推進に努めます。

1. 評価の目的

(1) 計画の進捗管理

計画に掲げられた取組の現状や課題、指標の達成状況、事業等の実施状況を把握することで、計画の着実な推進を目指します。

(2) 意識の共有化

計画の進捗状況や事業等の課題等を庁内で共有化することにより、効率的かつ効果的に事業等を執行できるように意識の醸成を図ります。

(3) 市民への説明責任

評価結果や取組状況については、毎年度、市・社協ホームページにおいて公表し、周知を図ります。指標の達成状況、事業等の評価結果や今後の方向性などを公表することで、市・社会福祉協議会の説明責任を果たすとともに、市民が自ら地域福祉について考えていただく契機を作ります。

2. 評価の手法

評価は、指標の達成状況ならびに事業等の実施状況の確認を含めた取組評価を実施します。

取組評価は、計画に掲げた 7 つの取組ごとに、目標指標の達成状況等の進捗状況を確認し、課題の整理をした上で、さらなる計画の推進に向けて必要に応じて見直しを実施します。

3. 取組評価の概要

①評価対象

評価対象は、計画に掲げた7つの取組です

②評価者

各担当で指標の実績数値等の基礎データを入力します。これらの情報に基づき、事務局において評価案を作成し、上尾市地域福祉推進協議会・上尾市地域福祉活動計画推進委員会の合同会議に諮ります。

③評価手法

指標の達成状況から各取組の進捗状況を確認し、取組内容の評価及び今後の展開の方向性を示します。

4. 評価に係る主なスケジュール

評価対象年度末3月： 上尾市地域福祉推進協議会・地域福祉活動計画推進委員会の合同会議において実施方針を決定

次年度 4月～5月： 各担当へ評価シート等入力依頼

6月： 評価内容の調整、評価結果のまとめ（事務局）

7月： 合同会議へ報告、評価確定

8月： 評価結果の公表

■計画の進捗管理のイメージ（計画冊子 P103）

